

Futaba Report

第104期 中間株主通信

2017年4月1日 ▶▶ 2017年9月30日





代表取締役社長

吉貴 寛良

ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、日頃よりフタバ産業株式会社ならびにフタバグループ各社をご支援いただきまして、誠にありがとうございます。第104期中間（第2四半期連結累計期間：2017年4月1日から2017年9月30日まで）の株主通信をここにお届けいたします。

Profile

代表取締役社長 吉貴 寛良

- 1980年3月 京都大学法学部 卒業
- 1980年4月 トヨタ自動車工業株式会社 入社
- 2012年1月 トヨタ自動車株式会社 常務役員 技術管理本部本部長
- 2015年4月 フタバ産業株式会社 常勤顧問
- 2015年6月 当社 代表取締役 副社長執行役員
- 2016年6月 当社 代表取締役社長

Q1. 当第2四半期を振り返って総括をお願いします。

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、北米では景気の回復基調が続いておりますが、政策転換による影響に注視する必要があります。欧州においても景気は緩やかに回復しておりますが、イギリスのEU離脱に伴う先行きの不透明感の高まりに留意する必要があります。アジア地域においては、中国では景気を持ち直しが見られておりますが、依然として不安定であります。インドやインドネシアなどでは、内需を中心に景気が緩やかに回復しております。

国内経済は、弱さも見られるなか、個人消費の持ち直しなどにより緩やかな回復基調が続いております。

当社グループの主要取引先であります自動車業界においては、北米ではライトトラックは高水準を保っているものの乗用車は鈍化が見られ、欧州においては欧州危機の落ち込みから回復過程、中国では暫定的減税措置等により需要が拡大しました。国内市場においては、普通自動車の販売台数は横ばいであるものの、軽自動車については増税等の影響の落ち込みから回復基調となっておりますが、全体としては力強さを欠く状況であります。

こうした状況のなか、当社グループにおいては新5ヵ年計画の2年目を、計画の確実な実施の年と位置付け、「安全、品質、ものづくり」の基本を徹底し、構造改革と原価マネジメントの強化により収益確保に努めております。

当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は2,104億円（前年同四半期比4.5%増）となり、営業利益は44億円（前年同四半期比67.7%増）、経常利益は38億円（前年同四半期比188.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は43億円（前年同四半期比271.1%増）となりました。





Q2. 配当の方針についてご説明をお願いします。

当社は、株主の皆様の利益向上を経営の重要課題としております。利益配分につきましては、今期の経営成績や配当性向などを総合的に勘案し、今期末配当を増額する予定として公表いたしました。今後につきましては、安定的な配当を維持し、株主の皆様のご期待に沿えるよう努力してまいります。

Q3. 2017年度の人材教育についてご説明をお願いします。

2017年度は新5ヵ年計画達成のための「計画の確実な実施」の年と位置付けており、業務品質を更に向上できるような教育活動を進めております。そのなかで、現在、会社方針と実務の連携強化を図り、方針管理と日常管理を確実にするためのTQM活動*を進めております。具体的には、経営陣から実務者の全員が各立場で、取り組むべき課題に対して自ら考え立案・推進できるような社内体制を立案しております。

また、11月10日に、係長会という社内団体を立ちあげました。この活動を通して、実務の中心を担う係長の一体感やリーダーシップを醸成し、当事者意識を持って業務遂行ができる人材を育成してまいります。

*TQM活動… 顧客の満足する品質を備えた品物やサービスを適時に適切な価格で提供できるように、企業的全組織を効果的・効率的に運営し、企業目的の達成に貢献する体系的な活動。

Q4. 株主の皆様へメッセージをお願いします。

「新5ヵ年計画」による改革はスタートしたばかりで、これからが正念場です。グローバルに改革を推し進めていき、この計画が完了する4年後には、フタバ産業が真の再生を成し遂げているように、取り組みを加速していきます。70年の歴史で培われたDNA (FUTABA WAY) を糧に、挑戦と変革を続けることで、新しい価値を生み出して成長するとともに、ステークホルダーの皆様にも永く支持される会社を作ることができるものと確信しています。

今後とも、皆様のご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

連結財務ハイライト

売上高

(億円)



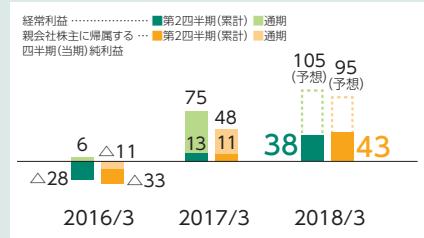
営業利益

(億円)



経常利益

親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (億円)



総資産・純資産

(億円)

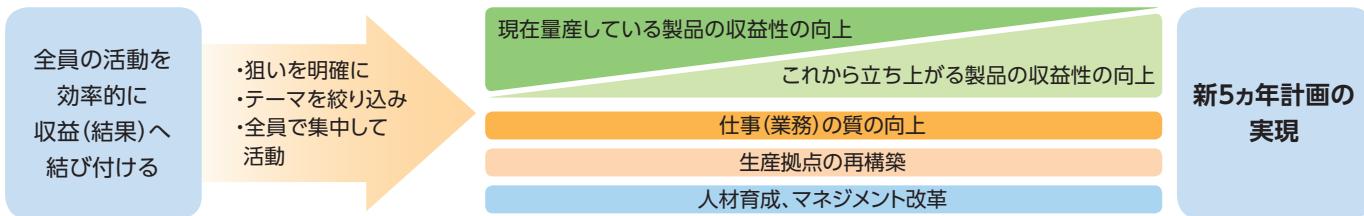




新5ヵ年計画の進捗 The New Five-year Plan

2016年度は「新5ヵ年計画」を策定し、社是である「よい品、より安く」を基本とした新たな成長ステージとして、体制整備を行ってきました。今年度は、新5ヵ年計画の実現に向け、計画を確実に実行し、2020年度における連結売上高4,400億円、連結営業利益率3.5%達成を目指し、取り組んでおります。

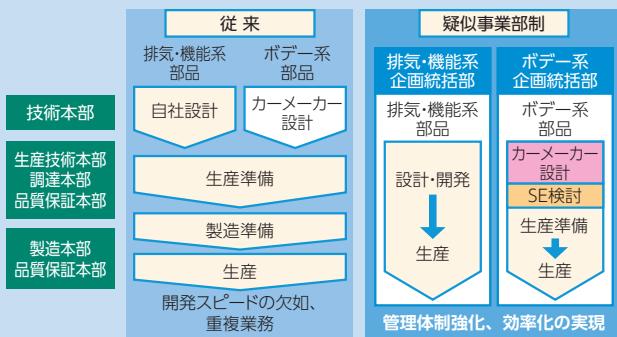
新5ヵ年計画の全体像



主な取り組み

①マネジメント改革

疑似事業部制をとることで、開発から量産までの一気通貫による管理体制強化と効率化を図り、プロジェクト毎の節目管理を充実させ、利益達成活動を推進しております。



②超ハイテン材の冷間プレス加工技術開発

高強度でありながら、難加工の超ハイテン材の冷間プレス加工技術の開発に取り組んでおります。



③仕事(業務)の質の向上

全社規模での仕事の質を向上させる活動を通じて、製品品質の更なる向上とグローバルで通用する人材育成に努めております。

連結売上高と営業利益率



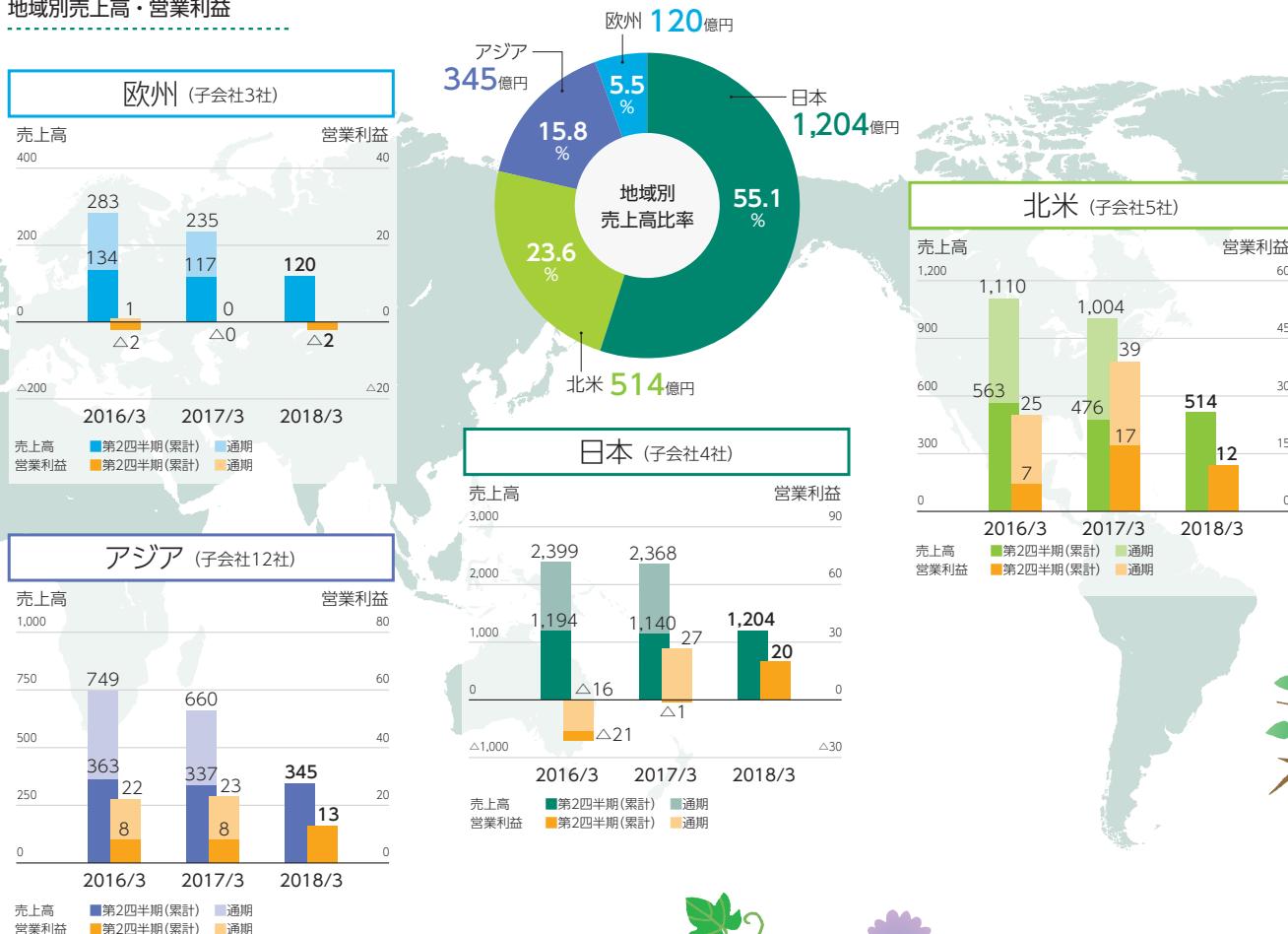
※2016年度の連結売上高計画は、新5ヵ年計画での公表値では4,070億円でしたが、その後、4,000億円に修正させて頂いております。



地域別業績の状況 Situation of Regional Performance

当社グループの地域別業績は日本においては売上高が1,204億円（前年同四半期比5.6%増）、セグメント利益は20億円（前年同四半期は1億円のセグメント損失）となりました。その他の地域における売上高は、北米が514億円（前年同四半期比7.8%増）、欧州が120億円（前年同四半期比2.2%増）、アジアが345億円（前年同四半期比2.5%増）となり、セグメント利益は、北米が12億円の利益（前年同四半期比28.0%減）、欧州が2億円の損失（前年同四半期は0億円のセグメント利益）、アジアが13億円の利益（前年同四半期比56.9%増）となりました。

地域別売上高・営業利益





1

工場紹介

幸田工場に新工場完成



▲ホットスタンプ加工ライン用新工場（第4工場）



▲幸田工場



2017年6月、当社幸田工場（額田郡幸田町）に、車の軽量化に向けた最新工法への取り組みとして、ホットスタンプ加工ライン用新工場（第4工場）が竣工いたしました。現在、2018年10月の操業開始に向けて、順調に生産準備を進めております。

ホットスタンプ加工とは…

高温に加熱した鋼板をプレス成型した後、金型内に保持することで急速冷却し、鋼板を高強度化する技術です。

従来の冷間プレスよりも強度を高めながら加工することができるため、より軽くて丈夫な製品をつくることが可能になります。

2

製品情報

高剛性軽量アルミインパネリンフォースの生産開始

2017年9月、当社の田原工場にて、トヨタ自動車様向けレクススLS用に、アルミインパネリンフォースの生産を開始いたしました。従来品の鉄製に対して、20%の軽量化と運転時の操舵性、安定性の向上、及び不快な振動を大幅に低減することができました。この技術開発により、トヨタ自動車様から「CE特別賞」をいただきました。

※インパネリンフォース… ダッシュボード内部にあり、ステアリングや計器類、オーディオ等を支える部品。一般的には鉄製である。

CE特別賞▶



▲アルミインパネリンフォース



3 製品情報

高強度軽量ボデー部品の開発

2017年1月、当社の六ツ美工場にて、トヨタ自動車様向レクサスLC用に、冷間高強度材使用（1180MPa材）のボデー部品の生産を開始いたしました。今までの980MPa材より、強度を確保しつつ板厚を薄くすることにより軽量化を実現しました。この技術開発により、トヨタ自動車様から「CE特別賞」をいただきました。

CE特別賞▶



▲冷間高強度材使用のボデー部品

4 新規事業

農業ハウス栽培用CO₂貯留・供給装置の販売開始

2017年11月、農業ハウス栽培用CO₂貯留・供給装置を農業ブランド名「agleaf（アグリーフ）」と命名し、販売を開始いたしました。当システムは、夜間に燃烧式暖房機から出るCO₂を回収・浄化・貯留し、日中にそのCO₂を、植物の光合成促進のために再利用いたします。



CO₂を回収・浄化・貯留



▲農業ハウス栽培用CO₂貯留・供給装置「agleaf」

5 業績

2017年度 格付審査の結果について

当社は2009年より昨年まで、(株)日本格付研究所による格付審査において、BBB（安定的）の評価をいただいております。2017年8月に実施された今年度の格付審査において、これまでの取り組みと収益体質や財務基盤強化が評価され、格付見通しの変更をいただきました。

長期発行体格付	BBB	▶	BBB
格付の見通し	安定的		ポジティブ





情報環境機器部品／その他

8.6%

- カラー複合機向け
トレイモジュール
- 各種精密部品
- 家庭用燃料電池向け改質器 など



排気系部品

35.7%

- 排気系システム
- エキゾーストマニホールド
- ディーゼル排ガス後処理装置
- POWEREV®
(パワレヴ・排気熱回収器)
- ディーゼルパティキュレート
フィルター(DPF*) など

*DPF: Diesel Particulate Filter



足回り部品

7.1%

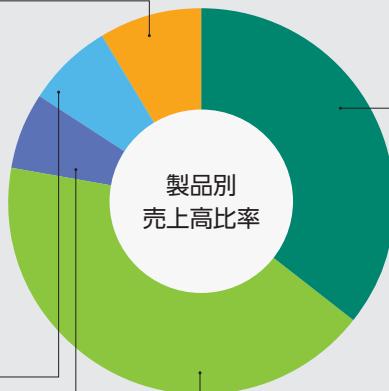
- フロントサスペンション
サブフレーム
- リヤアクスルビーム など



燃料系部品

6.5%

- フューエルインレット
- フューエルタンク
- キャニスター など



ボデー／内外装部品

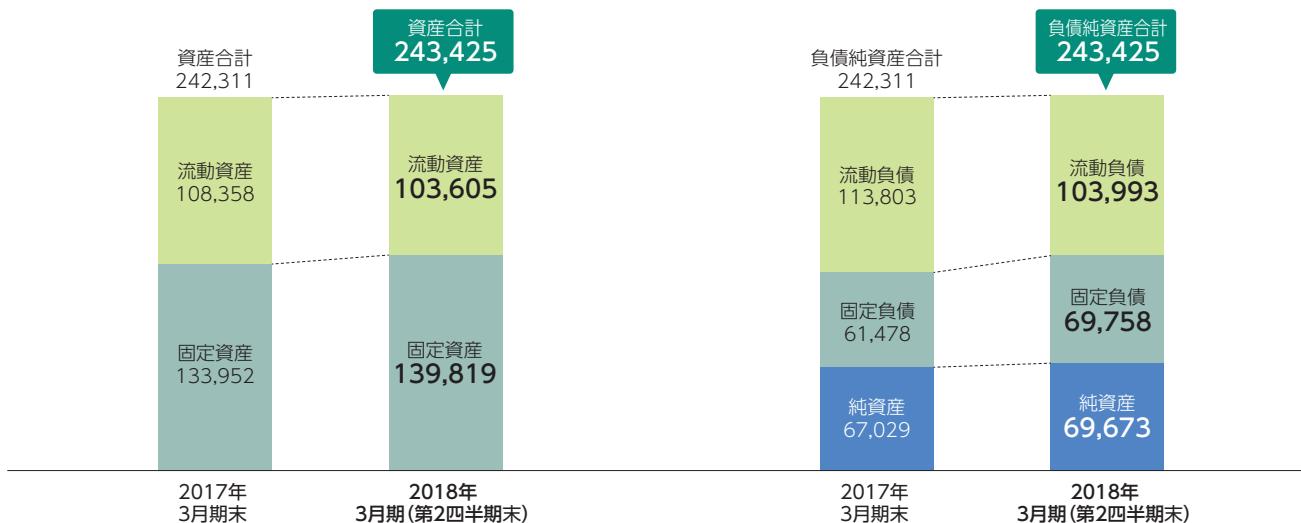
42.1%

- フロントボデーピラー
- センターボデーピラー
- インパネリインホース
- カウル など





四半期連結貸借対照表の概要 (百万円)



四半期連結損益計算書 (百万円)

科目	前第2四半期 (2016年9月期)	当第2四半期 (2017年9月期)
売上高	201,482	210,493
売上原価	189,699	195,973
売上総利益	11,783	14,520
販売費及び一般管理費	9,139	10,087
営業利益	2,643	4,432
営業外収益	717	769
営業外費用	2,008	1,302
経常利益	1,352	3,899
特別利益	—	1,149
税金等調整前四半期純利益	1,352	5,048
法人税等	△34	394
四半期純利益	1,386	4,654
非支配株主に帰属する四半期純利益	224	340
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,162	4,314

四半期連結キャッシュ・フロー計算書 (百万円)

科目	前第2四半期 (2016年9月期)	当第2四半期 (2017年9月期)
営業活動によるキャッシュ・フロー	15,613	11,219
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,470	△11,462
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,668	△7,561
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,871	36
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,396	△7,768
現金及び現金同等物の期首残高	13,121	20,581
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,724	12,813



会社概要

設立	1935年3月25日
創立	1945年11月1日
資本金	168億2,016万円
従業員数	9,952名(連結)
事業内容	自動車等車両部品、情報環境機器部品、 治具溶接機等の製造及び販売

事業所

本社・岡崎工場	愛知県岡崎市橋目町字御茶屋1番地
緑工場	愛知県豊田市緑ヶ丘6丁目1番地
知立工場	愛知県知立市逢妻町道瀬山110番地
幸田工場	愛知県額田郡幸田町大字長嶺字柳沢1番1
六ツ美工場	愛知県岡崎市在家町字向前田38番地
高橋工場	愛知県岡崎市高橋町字一三三24番地
田原工場	愛知県田原市緑が浜1号5番

取締役及び監査役

代表取締役社長 吉貴 寛良

取締役専務執行役員 岩月 幹雄

取締役専務執行役員 吉田 隆行

取締役専務執行役員 高橋 友寛

取締役専務執行役員 大橋 二三夫

取締役常務執行役員 浅川 慶太

社外取締役 木下 潔

社外取締役 堀江 正樹

常勤監査役 中島 明

社外監査役 磯部 利行

社外監査役 吉村 善裕

社外監査役 鈴木 人史

連結子会社の状況

会社名	所在地	資本金	議決権比率
(株)フタバ九州	福岡県	460百万円	100.0%
(株)フタバ平泉	岩手県	495百万円	100.0%
(株)アピックス	愛知県	100百万円	97.5%
(株)フタバ総合サービス	愛知県	10百万円	100.0%
フタバノースアメリカE&M(株)	米国	1百万米ドル	100.0%
FICアメリカ(株)	米国	14百万米ドル	100.0%
フタバインディアナアメリカ(株)	米国	10百万米ドル	100.0%
フタバインダストリアルテキサス(株)	米国	10百万米ドル	100.0%
FIOオートモーティブカナダ(株)	カナダ	99百万カナダドル	100.0%
フタバ・マニュファクチュアリングUK(株)	英国	18百万英ポンド	100.0%
フタバインダストリアルUK(株)	英国	25百万英ポンド	100.0%
フタバチェコ(有)	チェコ	1,340百万チェココルナ	85.0%
双叶(常州)管理(有)	中国	2百万米ドル	100.0%
雙葉科技(株)	香港	56百万香港ドル	95.0%
双叶金属制品(深圳)(有)	中国	150百万香港ドル	100.0%
天津双協機械工業(有)	中国	6百万米ドル	50.0%
天津双叶協展機械(有)	中国	11百万米ドル	51.0%
広州双叶汽車部件(有)	中国	29百万米ドル	51.0%
東莞双叶金属制品(有)	中国	23百万米ドル	100.0%
長沙双叶汽車部件(有)	中国	12百万米ドル	100.0%
重慶福達巴汽車部件(有)	中国	12百万米ドル	100.0%
FMIオートモーティブコンポーネンツ(株)	インド	900百万インドルピー	51.0%
フタバインダストリアルグジャラート(株)	インド	1,013百万インドルピー	100.0%
(株)フタバインダストリアルインドネシア	インドネシア	70百万米ドル	83.4%

関連会社

三恵工業株式会社(岡山県)
協祥機械工業股份有限公司(台湾)
PT. Komponen Futaba Nusapersada(インドネシア)
PT. Greenland Metal Stamping Indonesia(インドネシア)

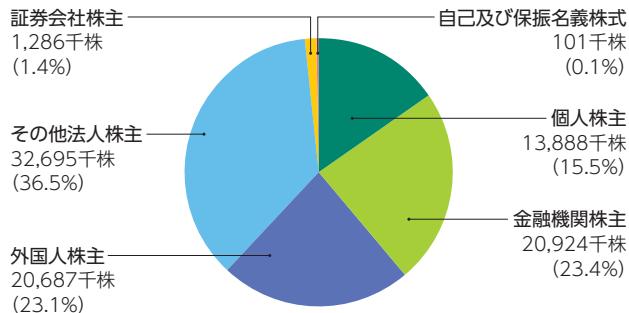




株式状況

発行可能株式総数	200,000,000株
発行済株式の総数	89,580,827株 (自己株式数101,420株を含む)
株主数	5,916名

所有者別持株比率



大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
トヨタ自動車株式会社	28,116	31.38
イーシーエムエムエフ	6,765	7.55
株式会社三井住友銀行	3,063	3.42
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託みずほ銀行口再信託受託者資産管理サービス信託銀行株式会社	2,919	3.25
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,523	2.81
フタバ協力会持株会	2,445	2.73
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,472	1.64
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,290	1.44
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	1,264	1.41
三井住友信託銀行株式会社	1,162	1.29

※持株比率は、自己株式を控除して計算しております。



株主メモ Shareholder Information

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
基準日	
定時株主総会・期末配当	毎年3月31日
中間配当	毎年9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。
単元株式数	100株
公告の方法	電子公告の方法により行います。 ただし、電子公告によることができないやむを得ない事由が生じた場合は、 日本経済新聞及び中部経済新聞に掲載します。
上場証券取引所	東京及び名古屋証券取引所 市場第一部

株主様のご住所・お名前に使用する文字に関してのご案内

株券電子化実施に伴い、株主様のご住所・お名前の文字に、株式会社証券保管振替機構（ほふり）が振替制度で指定していない漢字等が含まれている場合は、その全部または一部をほふりが指定した文字またはカタカナに変換して、株主名簿にご登録いたしております。

このため、株主様にご送付する通知物の宛先が、ほふりが指定した文字に置換えられる場合がありますのでご了承ください。

なお、株主様のご住所・お名前として登録されている文字については、お取引の証券会社等（特別口座の場合は特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社）にお問い合わせください。



環境に配慮した
「植物油インキ」を
使用しています。



見やすいユニバーサル
デザインフォントを
採用しています。